



はくば



議会だより

143号



この空のように晴れやかな村を築き
明るい未来を共に創りましょう！



■ 村政を問う 一般質問 6p

- ・ 新年度予算編成の基本方針は 7p
- ・ 本村ならではの文化・芸術の取り組みは 8p
- ・ 期末手当。小谷、大町 2.55、白馬 1.45 カ月 9p
- ・ 宿泊税ありきではない観光財源の在り方は 10p
- ・ 頼りづらい支援ルーム、いつまで続くのか 11p
- ・ 県の除雪車両の借り受けを増やすべきでは 12p
- ・ 持続可能な次の白馬のイメージは 13p
- ・ 建物断熱の普及に助成金は 14p
- ・ 10 億単位ビッグプロジェクトの優先順位は 15p
- ・ 図書館は文化施設。組み合わせは重要では 16p

■ 常任委員会審議

- 庁内の債権管理を一元化する条例制定へ!! 2~3p
- 積立金を有価証券で運用へ! 3~4p

■ 質疑・討論

- 環境基本条例など 4p

■ トピックス

- 閉会中活動フォトギャラリー 17p
- 夢・私たちに。「わたしのひとこと」 18p

総務社会委員会

●議案第46号 北アルプス広域連合規約の変更

副広域連合長の選任方法、大町市の最終処分場第3期埋め立て地を広域に移行するための負担割合等。

●議案第47号 白馬村債権管理条例の制定

債権の回収整理を、全庁統一的に管理する条例の制定。

問 払いたくても払えない者もいる。徴収率向上だけに目を向けずケアも必要では。

村長 納税は義務。滞納が無い村づくりが大

切。だれにでも対応できるように制定するもの。

●議案第48号 白馬村環境基本条例を廃止する条例

白馬村景観条例及び白馬村開発行為の調整に関する条例の施行に伴い、重複条例を廃止するもの。

問 廃止せず残しても問題無い。空白期間ができることはないかがか。廃止しないほうが得策ではないか。

村長 9月定例会の際にも全部改正条例に修正箇所があれば村長として修正する考えがある旨回答した。それでも否決となった。

可決されれば修正も可能であったが、否決されたので重複規定となることを避けるため廃止とした。

反対討論

新たな条例の制定の見通しが見えていない。重複しても残すべき。

賛成討論

景観・開発の新条例が1月1日から施行されることから廃止に賛成。

●議案第49号 白馬村表彰条例の一部を改正する条例

感謝状は表彰審議会の選考を経ず各課で適時に授与できる改正。

●議案第50号 白馬村印鑑条例の一部を改正する条例

コンビニ等で印鑑証明を交付できる所要改正。

●議案第51号 白馬村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う改正。

●議案第52号 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

法改正による定年年齢の引き上げに伴う所要規定の整備。

●議案第53号 白馬村職員定年等に関する条例の一部を改正する条例

定年65歳の段階的引き上げと管理職の上限年齢を60歳とする規定整備。

●議案第54号 白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

部を改正する条例
議員報酬に関する法律の一部改正に伴う改正。

●議案第55号 白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員の給与に関する法律の一部改正に伴う改正。

●議案第56号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和4年人事院勧告に伴う職員給与改正。

●議案第57号 フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職給与改正に伴うフルタイム会計年度任用職員の給料表改正。

●議案第59号 白馬村教育振興基金条例の一部を改正する条例

基金を図書購入から教育振興に使える改正。

●議案第60号 白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

県の中期改革方針に基づき、令和9年度までに応益割保険料を標準保険料に近づけるための税率等の改正。

問 財政調整基金を崩す考えは。

答 県単位会計に移行した以後、法定外繰入金が生じ、その解消も求められ、基金はその原資と考えている。

反対討論

年収が低い世帯に影響があり、基金からの充当を望む。

●議案第61号 白馬村手数料条例の一部を改正する条例

証明書コンビニ交付サービス開始に伴い、住民票の写し、印鑑登録証明書各250円に設定。

●議案第63号 令和4年度白馬村一般会計補正予算(第6号)所管事項

健康福祉課
歳入歳出それぞれ
3億9681万円を追
加し、総額を68億810
5万6千円とするもの

総務課

ふるさと納税事業
1億5466万3千円
の増額は、一般寄付金
3億2000万円増
額に伴う業務委託料
1億3760万円等。
残金2億2400万円
は積立。

問 ふるさと納税業
務を請け負う事
業者しくみ(株)への委
託料の内容を明確にす
る考えは。

答 委託料を細かく
分ける手法、予算
細目を設定する手法な
どもあるので検討する。

住民課

マイナカードの申請
窓口を郵便局にも委託
開設するため24万5千
円増額。11月末時点
の発行率56.3%。公
衆トイレの光熱水費に
247万円増額。

健康福祉課

心身障害者就労支援
事業所への通所人員の
増加と、日数増加によ
る不足額412万円増
額。

子育て支援課

しろうま保育園正規
職員1名の育休による
臨時職員を会計年度任
用職員に登用のため不
足額139万円増額。

教育課

パソコン等セキュリ
ティ対策経費91万6千
円の増額。コロナ感染
対策として、空気清浄
機・非接触温度計の設
置と準要保護児への学
用品と新入学児童を見
込み南北小学校へ増
額。

生涯学習スポーツ課

青鬼神社の本殿が傾
き、倒壊防止仮設修繕
工事に130万6千円
増額。

総務社会委員会審議結果

議案	審議結果	
議案第46号	可決	全員
議案第47号	可決	多数
議案第48号	可決	多数
議案第49号	可決	全員
議案第50号	可決	全員
議案第51号	可決	全員
議案第52号	可決	全員
議案第53号	可決	全員
議案第54号	可決	全員
議案第55号	可決	全員
議案第56号	可決	全員
議案第57号	可決	全員
議案第59号	可決	全員
議案第60号	可決	多数
議案第61号	可決	全員
議案第63号	可決	全員
議案第64号	可決	全員

●議案第64号 令和4年
度白馬村国民健康保
険事業勘定特別会計
補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ
64万円を追加し、総額
を10億2021万1千
円とするもの。

●請願第3号 「へき
地教育振興法に鑑み、
へき地手当等支給率
を近隣県並みの水準
に戻すこと」を長野
県知事に求める請願
書

へき地手当およびへ
き地手当に準じる支給
率を、2005年度以
前の水準に戻すことの
県への意見書提出を求
めるもの。

●請願第4号 「さら
なる少人数学級推進
と教育予算の増額」。

「義務教育費国庫負担
制度の堅持・拡充」を
求める請願書

少人数学級推進と教
育予算の増額。複式学
級の学級定員引き下げ
などの意見書提出を求
めるもの。

●陳情第5号 安全・
安心の医療・介護実
現のため人員増と処
遇改善を求める

医師・看護師・介護職
員などの待遇改善と、
公立・公的病院を拡充
強化し保健所の増設な
ど公衆衛生体制を拡充
の意見書の提出を求め
るもの。

陳情書

積立金を有価証券で運用へ！

産業経済委員会

●議案第45号 村
道路線の認定

議案第44号に伴
う踏切前後の2路
線の認定。

●議案第43号 白
馬村グリーンス
ポーツ、夢白馬施
設、山小屋等の指
定管理者の指定

●議案第58号 白
馬村特別職の職
員で非常勤のもの
の報酬に関する
改正する条例

白馬グリーンス
ポーツ、夢白馬施
設、山小屋、野外緑
地広場の指定管理
者を白馬村振興公
社とするもの。指
定期間は5年間。

白馬村開発審議
会が設置されるこ
とに伴い、委員報
酬を規定する条例
改正。

問 4施設の使
用料と一括
指定の理由は。

答 年間450万
円。指定す
る施設をまとめる
ことにより負担軽
減のメリットがあ
る事から一括指定
とした。

●議案第44号 村
道路線の廃止

飯田地区の村道
2037号線の踏
切が廃止され、通
り抜けられなくな
ることから廃止。

●議案第63号 令
和4年度白馬村
一般会計補正予
算(第4号)所管
事項

「開発行為」「開
発事業者」及び「事
業主」に関する用
語の定義と各条項
中の文言改正。

農政課

農道台帳補正の為の測量委託料48万4千円増額。飯田・大出地区の金網フェンス・電気柵設置に272万7千円の増額。

観光課

WiFiのサーバー修理に181万5千円増額。新型コロナウイルス感染症対策で、ウインターシーズンに備えた抗原検査キットを11000セット購入に110万円増額。

問 今もWiFiは15分で切れてしまう設定か。

答 現在は12時間接続できると変更。パスワード認証は7日間保存。

建設課

除雪事業における燃料光熱水費高騰並びに道路照明電気代高騰などで3903万円増額。凍結防止剤散布車購入に3036万円増額。飯田地区大和手(オオワデ)踏切改良工事先延ばしにより5180万円減額。

●議案第65号 白馬村水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収入286万円増額し総額3億1266万1千円に、収益的支出に378万5千円増額し、総額2億7569万3千円に改めるもの。物件移転に伴う補償費の増額及び工事費の増額、投資有価証券の購入による増額が主なもの。

問 有価証券の内容は。

答 積立金を活用し東京電力の社債を購入予定。国債より利回りが良く、倒産しても優先的に配分される仕組みとなっている。

●議案第66号 白馬村下水道事業会計補正予算(第2号)

収益的収入に180万円増額し、総額4億8570万6千円に、収益的支出に131万9千円増額し、総額4億8514万3千円に改めるもの。建設改良に伴う物件補償費の増額やマンホールの修繕費及び材料費の増額が主なもの。

●第5号 免税軽油制度の継続を求める請願

軽油引取税の課税免除の特例装置が令和6年3月末で廃止されることから、同制度の継続を求めるもの。

●第6号 除雪作業に関する陳情

除雪機械の管理費用を県と同等の単価への要望や燃料費の高騰による稼働単価の見直し、労務費の休日・時間外での割り増しを願うもの。

問 除雪委託料の内容は。

答 稼働した時間により支払われる稼働費と、機械を保持・維持するための管理費。稼働費は時間当たり2万円。稼働費は70%で設定。小雪時では管理費でなるべくカバーする仕組みにしてある。

産業経済委員会審議結果

議案	審議結果	
議案第43号	可決	全員
議案第44号	可決	全員
議案第45号	可決	全員
議案第58号	可決	全員
議案第62号	可決	全員
議案第63号	可決	全員
議案第65号	可決	全員
議案第66号	可決	全員

議案第48号白馬村環境基本条例を廃止する条例

尾川耕

問 廃止によって想定される問題点は。

答 例規で定めている条例等による読み替え、さらに新規に制定した要綱や、県条例の規定を活用することで、一定の対応が可能。

議案第62号 白馬村開発行為の調整に関する条例の一部を改正する条例

松本喜美人

問 改正理由は行政判断か。

答 先の定例会の委員会において出された質疑・意見により、行政判断した。

問 一般的には明らかでない部分が生じた場合に一部改正が行われるが、施行日前の改正は、行政運営上問題はないのか。

答 問題はない。

議案第48号白馬村環境基本条例を廃止する条例

反対討論 加藤亮輔

環境基本条例には二つの新条例に規定されていない事項がある。重複部分があるとの理由で条例を廃止することは適切ではない。また、重複部分については、後法優先の原則を適用でき、本村だけ適用されないのは疑問。

賛成討論 切久保達也

村が制定する条例に重複する規定があるため廃止するもの。廃止しても、個別の計画があり、また環境基本法等上位法並びに新条例制定に伴う要綱や、県条例の規定もあることから、事務の執行に当たっては支障がない。

議案第60号白馬村国民健康保険条例の一部を改正する条例

反対討論 加藤亮輔

市町村から、県運営に変更し、保険料統一のための値上げ条例。村の国保税会計が赤字ではない。県への支出金が増額になれば、1億8249万円の貯金(財政調整基金)から支出すれば値上げを回避できる。

● 12月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
村有地内の事故に係る損害賠償額の専決処分報告について	報告事項
白馬村グリーンスポーツ、夢白馬施設、山小屋等の指定管理者の指定について	可決 賛成：全員
村道路線の廃止について	
村道路線の認定について	
北アルプス広域連合規約の変更について	
白馬村債権管理条例の制定について	
白馬村環境基本条例を廃止する条例について	
白馬村表彰条例の一部を改正する条例について	可決 賛成：全員
白馬村印鑑条例の一部を改正する条例について	
白馬村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	
白馬村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村特別職の職員で非常勤のものの報酬に関する条例の一部を改正する条例について	
白馬村教育振興基金条例の一部を改正する条例について	
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決 反対：加藤(亮)
白馬村手数料条例の一部を改正する条例について	可決 賛成：全員
白馬村開発行為の調整等に関する条例の一部を改正する条例について	
令和4年度白馬村一般会計補正予算(第6号)	
令和4年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	
令和4年度白馬村水道事業会計補正予算(第2号)	
令和4年度白馬村下水道事業会計補正予算(第2号)	
追加議案	
白馬村副村長の選任について	可決 賛成：全員
工事施工に関する協定の締結について	
「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書	
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	
免税軽油制度の継続を求める意見書	

● 11月臨時会 議決結果 ●

件名	議決結果
令和4年度白馬村一般会計補正予算(第5号)	可決 賛成：全員

● 陳情文書 ●

提出者	住所	要旨	審議結果
長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	長野市	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情	採択
白馬建設業組合 組合長 太田 具英	白馬村	除雪作業に関する陳情	採択
取下げ	白馬村	学校における「黙食」の緩和を求める陳情	—

● 請願文書 ●

提出者	住所	要旨	審議結果
長野県教職員組合白馬単組 執行委員長 降旗 尚樹	白馬村	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	採択
長野県教職員組合白馬単組 執行委員長 降旗 尚樹	白馬村	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願	採択
白馬村索道事業者協議会 会長 松沢 修	白馬村	免税軽油制度の継続を求める請願	採択

一般質問

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。

本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます。

質問者一覧

- ・松本 喜美人…………… 7p
- ・増井 春美…………… 8p
- ・加藤 亮輔…………… 9p
- ・太谷 修助…………… 10p
- ・加藤 ソフィー……… 11p
- ・切久保 達也…………… 12p
- ・津滝 俊幸…………… 13p
- ・尾川 耕…………… 14p
- ・丸山 勇太郎…………… 15p
- ・丸山 和之…………… 16p

フォトニュース



順調な雪に恵まれ、このまま賑やかな冬が続きますように



松本 喜美人

問 新年度予算編成の基本方針は

答 ゼロカーボン・DX^注・子育て支援を重点に

【新年度の重要課題と対策等】
問 新年度の重要課題と対策は。
答 村長 1. コロナ感染症と感染対策の継続。2. エネルギーや物価高騰対策は、

エネルギー・食料自給率を上げ、コスト抑制を図る再生可能エネルギーの創出やリサイクル、断熱、エコ製品等の普及施策。3. 人手不足対策は、デジタル化や機械化の促進と次世代育成や少子化対策。4. 観光振興対策は、入込客数が楽観視できない状況から、国内外へのプロモーションと事業者支援の継続が重要と考える。
問 進行中の事業で、中断、先送り、凍結は。
答 村長 中断、先送り、凍結はないが、任期中どこまでできるかが定かでない事業として、図書館複合施設、犬川の小水力発電事業、スクールバスを含むコミュニティバスが想定される。
問 任期中に新規に取り組みたい、または再開したい事業は。
答 村長 持続可能な観光地であるためには、安定的な観光財源が必要と考え、議論の場を再開する方向で指示。新道の駅についても、より魅力的な道の駅

は必要と考える。
問 枠配分方式による予算編成作業の継続か、また要求限度額の上昇率は。
答 村長 継続し、電気料の高騰と会計年度任用職員昇給分を除く、経常的経費はゼロシーリングとするが、計算上では6.2%の上昇となる。
問 新規地方債の発行額は、元金償還額の範囲以内を継続か。
答 村長 持続可能な財政運営のため継続する。
問 大系線への対応は
答 観光客の利用に期待

【大系線存続問題】
問 存続に向けて村の今後の展開は。
答 村長 継続可能な観光地であるためには、安定的な観光財源が必要と考え、議論の場を再開する方向で指示。新道の駅についても、より魅力的な道の駅
問 村長 白馬から南の区間の利用客数の減少は、コロナ禍における東京及び名古屋方面からの観光客の減少が要因と認識。住民利用を大幅に拡大するのも難しく、まずは観光客を増やす事を第一に、玄関口の白馬駅前では電線の地中化が進められ、魅力度は高まりつつあり、駅に人が集まり賑わいが生まれる仕掛けづくりを、地域の人たちと考えたい。
問 民法・登記法改正の影響は
答 相続放棄の課税仕組みや制度の整備
問 【相続登記法改正】
相続放棄を含め、税務関係の影響は。
答 村長 相続登記の義務化は、所有者不明土地・家屋の問題解消に前進



開業90周年を迎えた JR 白馬駅とイルミネーション

するが、相続人全員が相続放棄した、土地家屋は宙に浮いた状態になり、被相続人の未払い税の納税義務は無くなる。相続放棄物件の課税に対する仕組みや制度の整備が必要と考える。
^注 デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術を活用したあらゆる分野の革新。

問 本村ならではの文化芸術の取り組みは

答 住民や白馬を愛する皆さんと協力していく



増井 春美

【ウイング21ホール（村直営管理）】

管理運営状況は。

答 コロナ禍の前後の比較では、利用者数は減少だが利用収入は微増。管理体制は常勤1名、常に配置の職員2名の3名体制。

利用面での音楽合宿はコロナの影響もあるが、年間1、2組の利用で決して多いとは言えない。使用料は一般営業、興行使用の3区分の他、行事の共催、後援等の区分による減免措置を設けているが、他市町村の施設や

問 観光資源として文化芸術の取り組みは。

答 振興を進めることではなく、文化芸術を観光面でも活かすという考え方が大事。文化や芸術を振興することで、教育、福祉、まちづくり、観光など、幅広い分野に波及させることができると思う。今後、観光局のWebサイト等に情報を掲載するとともに、SNSでの情報発信なども検討したい。

問 村民への良質な文化芸術の提供は。

答 年間を通じて様々な催しを開催している。芸術文化プログラム及び友の会主催のイベントをはじめ各教室の発表会もあり、一流演奏家によるものと村民による演奏会によるものと村民による演奏会と様々な利用がある。今年度は親子の体験型音楽会を開催して、多くの皆さんからよい評価を得た。今後、関係団体と協力し、村民に良質な文化芸術を提供していきたい。よう、官民一体となって多様な機会を創出したいと考えている。

【歴史民俗資料館（指定管理者による管理）】

問 村民意識を高め入館者数を増やす努力は。

答 所蔵品のデータをデジタルで保存し、広報はくばで紹介しているが、入館者数の大きな増加には繋がっていない。

問 所蔵庫の所蔵スペースの確保は。

答 資料館運営委員会から指摘をいただいております。管理している振興公社と改善に向けて打合せを進めている。冬季閉館時には、グリーンスポーツの遊具等が場所を取ってしまったのが現状。今後、振興公社と打合せを進め、遊具等を保管できる場所を検討することで改善に繋げる。

問 ホールの未来像は。

答 来年には開館25周年を迎える。長野オリピックのレガシーとして、人口1万人に満たないながら500席のホールを有する意味を改めて考え、村民の文化活動の拠点として、住民や白馬を愛する皆さんと協力して、多くの方に足を運んでいただけるホールとなるよう努めたい。

問 歴史を発信する機会にした。来年度以降の施策は。

答 村民をはじめとする、より多くの人から訪れていただける施設にするために、広報することはもとより、観光客が足を向けるよう観光担当部署との連携も必要。来年度以降は、「山とスキーの総合資料館」とも連携を図りながら企画展示の方法について検討したい。

問 村民利用を高め、観光客利用にも繋がる取り組みは。

答 資料館の一部を今年市の文化祭に展示、長野市にある八十二銀行の本店において、塩の道・千国街道の企画展を開催する。村外の方にも千国街道の自然や



ウイング21ホール
国際的ピアニスト碓井俊樹と「横浜シンフォニエッタ」
室内楽公演 in 白馬



加藤 亮輔

問 期末手当。小谷、大町 2.55、白馬1.45ヵ月

答 手当だけで高い低いという判断は難しい

【会計年度任用職員制度の現状と今後の対応】
問 政府は、「同一労働同一賃金」をスローガンに、地方公務員法を改正して20年4月から非正規公務員の是正を目的に会計年度任用職員（以下、年度職員と

いう）制度に移行。正規職員104名や給与、服務などの状況はHPに掲載されているが、年度職員の状況については掲載がない。現在、年度職員総数と男女別は。

答 フルタイム年度職員が18名、パートタイム年度職員が132名で合計150名。男性38名、女性112名。勤続期間は5年未満が82名。10年未満28名。10年以上40名。多い課は子育て支援課52名。教育課47名。総務課15名。

問 正職員1人当たりの給与費は年額522万円、月額平均は41歳で36万円。フルタイム、パートタイム年度職員の1人当たりの年額、月額平均額は。

答 期末手当を含んだ金額は、フルタイム281万7千円。パートタイム230万3千円。平均月額フルタイム約21万円。パートタイム約17万1千円。

問 期末、扶養、寒冷地、住居、通勤手当等は、正職員、年度職員一緒か。

答 同等は通勤手当のみ。年度職員の状況もHPに掲載できないか。

答 休暇等権利についてはできると思うが、賃金等は、月額、時間給、日額支給がある。職種は一般事務職や医療職、福祉職や教育職があり、平均は難しいが研究したい。

問 総務省は「公表が望ましい」と答えている。公表しみんなで検証できれば改善が進む。

答 載せ方については検討したい。年度職員制度の目玉だった期末手当。20年度の年間支給月数は。

答 1.45で、現在も使用している。総務省の集計表を見ると、池田、松川は

問 2ヵ月、小谷村、大町市は2.55ヵ月。白馬村は1.45。県下43の町村が2.55を採用。なぜ、白馬

村は改善できないのか。

答 期末手当の事を述べながら、最初の給料表の号給がどこからスタートし、どの職種が上限号給をどこに定めているのか。その月々の給料の月額によっても変わってくる。手当だけで高い低いという判断はなかなか難しい。

問 23年度の雇用更新、公募の試験や面接の方法は。

答 現在検討中で、一律の公募は職員と住民にとっても有効とは考えていない。また、年度職員については評価結果と例年実施している面接を実施する方針。

問 年度職員の中にも優秀な方、意欲のある方がいる。そういった人材を社

会人枠で正職員へ登用する考えは。

答 過去に社会人枠という制度は何回か採ったことがあり、可能だと思

意見 年度職員の処遇改善をお願いしたい。



庁内で大勢の職員の方が住みやすい村にするために働いています。正職員104名と会計年度任用職員150名です。耳慣れない会計年度任用職員について質問しました。

問 宿泊税ありきではない 観光財源の在り方は

答 選挙公約にある使途の明確化 の議論が必要



太谷 修助

【観光財源】

問 決意署名した421軒の宿泊事業者の反対の論点を、早急に擦り合わせる必要があると考え

答 県も観光税を始める可能性がある。インバウンドの再開により観光客が増加している中で白馬村の滞在価値を高めるため、できるだけ早く持続可能な財源の確保ができる環境を整えるべきと考える。慎重に議論しながら早めに決めていく。

答 営業する場合は必ず保健所の許可が必要。施設の把握は可能。従って、入湯税のように申告書を送り徴収することは可能。適正な申告納付が大前提であるが、必要なら税法上の調査を行い、未申告や過少申告の処分はできる。長い目で見た場合、行政側と連動する顧客管理システム等の導入が出来れば、より正確にスピーディに徴収することが可能。

問 観光関連産業に薄く広くかける観光税は不可欠であると考え。各業界の理解を得るにはどのような方策が良いか。

答 受益者負担の観点でも白馬の自然やインフラで観光資源の恩恵を受けるので、宿泊施設以外でも徴収する考えに一定の合理性がある。一方、宿泊される方は村内で其々の施設で何度も賦課されるので、充分な説明と使途を明確にし、各業界に理解していただく必要がある。どういう徴収の仕方をするのか議論する中で考えたい。

問 宿泊形態も様々。外国籍所有施設から相応に徴収できるのか。

問 宿泊税を既に導入している自治体がある。将来的には県とのすり合わせが必要と考えるが。

答 新たな観光財源の位置付けは、未来志向で観光への投資をしていくための税であるべきとの検討委員会答申を受けている。村長公約として観光振興のための幅広い財源の検討を掲げている。その方向性を見出すうえで、当然に県の動向や調整も踏まえていきたい。

問 観光地として地場 食材を提供する 仕組みは

答 観光客への地場産 提供はもてなしの 原点

地域はそれらを実践してきた土地柄。宿泊業形態の変化で、農家民宿は減少傾向にある。営農を継続するためには優良農地の確保が不可欠なので、人・農地プラン懇談会での意見から、見直しによる営農しやすい環境整備、農業振興地域の見直しが必要と考える。

【食糧自給体制】
問 食糧自給率は38%。ウクライナ侵攻で小麦、トウモロコシ等が輸入出来なくなり、さらに肥料原料が入りにくくなっている。これらの食糧難、資材入手困難を解消させる手立ては。

答 食糧難、農業等の農業政策、観光地としての食材提供、地産地消、農業を通じての循環型社会形成は大切な課題。この大北



オーナー自らによる、無農薬、有機肥料による実践農地



加藤 ソフィー

問 頼りづらい支援ルーム、いつまで続くのか

答 人手不足のため改善の目処は立っていない

【子育て支援】

問 待機児童は何人で、増加した原因は。

答 15名。今年度は特に0才児の申込みが17名と多かった。核家族や働き方も多様化していることが影響していると推察。来

年度は、幼稚園での未満児の受け入れ体制拡充、12月

から少規模保育施設が開園することから待機児童が減少する見込み。

問 保育園に子どもを預けられなかった保護者にはどのような説明をしているのか。

答 支援ルームを案内しているが、人手不足のため預ける日数を減らすよう協力頂いている。どうしても週5日預けなければ困るといふ方に対しては断らずに対応している。

問 支援ルームが非常に使いづらい状況にあるり、本来の一時保育の役割を果たしていない。支援ルームの本来の目的は、保護者の急な予定や育児疲れとのことだが、保護者が子どもを連れて行きにくいイベントなどへの参加時や、リフレッシュしたい時に気軽に頼れる場所であるべき。この状況はいつまで続くのか。

答 必要な保育士が、募集をかけても集まらないのが現状。改善の見込み

は立っていない。

問 保育士の確保には待遇面も考慮しなければならぬことだが、具体的改善策は。

答 賃金関係は他との兼ね合いもある。今すぐには答えられない。長時間労働なので、無資格でも働ける保育補助員を起用して改善に努めたい。

問 昨年の冬はコロナ感染が広まった際に支援ルームが閉鎖され、行き場がなくなり辛い思いをした方々がいる。今年も感染が拡大することは考えられるが、どのような基準で閉鎖することになるのか。

答 状況を見て判断するが、支援ルーム内で感染拡大が確認された場合に閉鎖もあり得る。

問 「子育てがしやすい村・したくなる村」を目指すには何をすべきか。

答 働きながら安心して子育てができる環境を整えることが必要。具体的には、保育士の確保と保育施設の拡充。住まいの確

保も重要な課題。

問 希望する保護者の中には、仕事がしたくて預けたいという方だけでなく、生活費などの金銭的不安のため、やむを得ず預けて仕事をするといったケースもある。また、子ども目線で見ると、未満児で親から離れた子はいない。現状、預けて働いたほうが家計のためになるといふ選択肢しかないのも、待機児童が増えた一つの要因なのでは。

答 共働きでないと家計が成り立たない状況であると理解している。白馬の場合は基幹産業である観光を中心とした産業を活性化、より所得を増やせる環境を作る努力をしたい。

問 富山県の朝日町では「おうちで子育て安心事業」を行っている。保育園に預けておらず、育児休業給付金を受給していない未満児の保護者に月額3万6万円を給付。このように、家で子どもを見るといふ選択肢を増やすことも大事だ

と考えるが、検討したこと

は。

答 検討したことはあるが、優先度の高い他事業を優先し実現には至らなかった。

問 出産・入学祝い金の充実はいつになるのか。

答 国の動向も注視しながら、令和5年度予算編成に500万円の見込みを立て盛り込む予定。



子どもは地域の宝
目まぐるしい社会の変化の中で子育て支援策も柔軟性をもって迅速に対応していかなければなりません。

問 県の除雪車両の借受けを増やすべきでは

答

基本的には厳しいと考えている



切久保 達也

問

【除雪事業】
除雪の体制確保の上での課題と対策は。

答

降雪量の変化が大き
く除雪業者の設備投
資も含めた長期的な見通し
が立てづらい業務であり燃
料コスト増大、オペレータ
の高齢化・なり手不足。対策
としてオペレーターの経験
を生かしたDXの研究・実
用化を期待している。

問

平成30年12月にK D
D I株式会社と連携
協定し、除雪作業の運行支
援という試みがあったがそ
の後の計画や展開は。

費では燃料高騰により7%
から9%の増額契約をして
いる。

答

京都府の大学の研究
が続いており協力す
る形で進めている。

問

地区の排雪場所の
ルールは。

答

空き地や農地を借り
排雪している。場所
はオペレーターや区長の協
力で確保しているが、住民
や地権者の協力が得づらく
なってきた点課題で
ある。

問

除雪費単価を県と同
等にすべきでは。

答

一気に県の単価まで
は厳しい。しかし管
理費と稼働費に分け、県単
価ベースの6割から7割の
設定。また、夜間等の時間外
設定はなく日中の基準単価
のみ。

この冬の予算では6千万円
ほどを管理費に充て、稼働

問 生徒数減少の要因を分析しているか

答

活学進学の
募集と遠
方の禍と
コロナ禍
の制限と
敬遠の敬

問

【白馬高校】

平成27年6月に県と
締結した「白馬高等学
校に関する連携協定書」に
基づき魅力化を進めている
が、存続を含めた今後につ
いては。

答

運営参画として学校
運営協議会があり、学
校運営について議論すべき
場であるが、協議会が学校
の現状や支援事業を報告す
る場となり、学校運営の方
針などを積極的に議論して
いないことが大きな課題。
県教育委員会へは様々な立

場の方から意見を聴取する
ことができるように、委員
数を増やし課題解決に向け
取り組むようお願いしてい
る。

問

島根県や高知県は、中
高連携を取り入れ地
元中学生の入学人数が増え
ている高校があるが。

答

中高連携事業として
は授業参観、教科別研
修、出前授業、部活動交流な
どが考えられる。定期的に
学校運営協議会を開催し、
活発な協議・検討を重ね方
向を決定していく必要がある。
村立中学校と県立高校とい
う、設置者の立場を超えた

学校間連携の取組が学びや
育ちにつながる教育と考え
ている。

問

8月の山麓事務組合
定例会の管理者挨拶

にて、村長が耐震問題によ
り男子寮の部分改修を進め
たいとの計画があると聞い
たが、負担は大きいと感じ
る。今ある寮に大きなコス
トをかけるよりも、地方創
生拠点交付金(事業費の1
/2補助)と現在の寮売却
による資金で、高校の近く
に新しい寮を用意する方が
良いのでは。

答

選択肢の一つとして
は前向きに検討して
いきたい。



冬の交通機関維持には欠かせない大型除雪機械



津滝 俊幸

持続可能な次の白馬のイメージは

多様な人が暮らすユニバーサルデザインの村

【村長公約】

持続可能な地域とは。

問

社会的、経済的、自然環境の持続可能性が必要。社会的とは、少子高齢化の人口動態の変化に対応できる社会が必要。そのた

答

めには子育て支援や教育の充実、デジタル化の促進、介護予防や公共交通の充実を考えている。経済的とは、長期的に適正な経済活動が可能でだけの収益のこと。観光であれば一年を通じて集客目指す。自然環境は、将来も良い状態で残っていくこととであり、ゼロカーボンへの取組や、農業振興、森林整備、環境保全活動をいう。

問

第5次総合計画の理念や観光地経営計画との整合性は。

答

住む人や訪れる人にとって、居心地の良さを目指しているので整合性はある。

問

持続可能な観光地への政策は、どこから手をつけていくか。

答

多言語での発信による自らのトップセールス、コロナ対策、マナー条例の周知。四季を通じた付加価値の創造と活発なプロモーションによる観光団体との連携強化、観光財源の確保。

問

観光局代表理事への就任については。

答

現状の人選は適任だと思ふ。今後は定款に基づきながら、熟慮していきたい。

問

議会からの観光組織への提言についての所感は。

答

自分の公約とも同感でき参考となる。しっかりと取り組んでいく。

問

今後のコロナ対策は。

答

従来の感染対策を継続し、安全安心なスノーリゾートを形成し、観光産業の回復と再生の一步を踏み出したい。「感染症対策ムービー」を作成しマスク着用ルールやマナー条例等をわかりやすく伝えていく。

問

子ども向けの公園整備や給食費の負担軽減は。

答

図書館等複合施設整備の中で併設、グリーンスポーツの有効活用を考えている。給食費は質や量や栄養価を落とさず、近隣

の状況を見ながら検討する。

問

障がい者グループホーム誘致は。

答

小谷村と共に事業者側と具体的な施設整備備実現へ向け取り組んでいく。

問

行政サービスについては。

答

DXを推進し、デジタル技術の活用により業務の効率化をはかる。情報発信は紙媒体・デジタル媒体の特性を使い分け、多くの村民に届くよう活用していく。また、防災無線やユーティリティタイムリーに村民の協力が必要な事項を発信。HPやSNSの存在を認知していただく。

問

村民との対話集会は。

答

住民参加の共創の地域づくりは不可欠。対面での懇談会やテーマ別のオンラインによる対話を検討したい。行政の重点政策や事業についても、積極的かつ柔軟な双方向対話に取り組みたい。

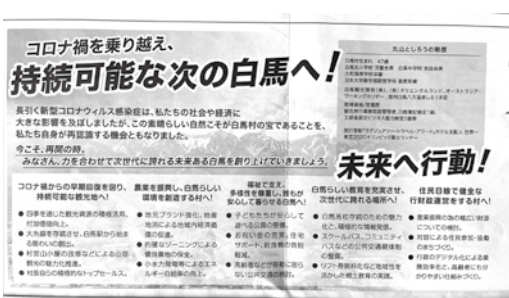
問

職員研修は。

答

著名な方の講演会の開催や面談、日常の接点などを通して、おもてなしの精神をもつて欲しい。目指すべき職員像として、「常に村民の視点に立って考え行動する」「村民に信頼される豊かな人間性を有する」「政策能力や経営感覚を持つ」「新たな課題への挑戦と自己変革できる」「仲間と協調し、職場全体に貢献する」など達成出来るよう努める。

注：ユニバーサルデザイン 身体能力の違いや年齢・性別・国籍に関わらずすべての人が利用しやすいようにつくられたデザイン。



村長だけでは実現できない村づくり、村民参加と協力が不可欠です！

問 建物断熱普及への助成金は

答

予算編成作業の中で検討を進めていく予定



尾川 耕

問 村のゼロ・カーボン施策

問

県と協力し「信州健康ゼロエネ住宅助成金」(信州健康ゼロエネ住宅指針)を活用し、村独自の補助金制度を創設する考えは。

答

庁内において、県の助成制度と併せた村独自の助成制度が創設できないか、国の住宅に関する助成制度も含めて整理しながら検討を始めた。現状で具体的な助成制度の内容が固まっているわけではなく、来年度の予算編成作業の中で細かい点について検討を

進めていく予定。

問

村内の建物の用途、床面積、築年数、断熱性能等のデータはあるか。

答

村に直接提出される建築確認申請は、データベース化しているが、民間検査機関に出されたものは、村を通さないので把握できていない。建設課の所管ではないが、税務課の家屋評価等で把握できるものがある。断熱性能は調べていない。

問

村の体制・計画づくりは。

答

今年度、白馬村ゼロカーボンビジョンを2022年1月策定し、啓発活動を進めてきた。また、行政の取組を加速させるため、村民や事業者の行動変容の取組を後押しする施策の在り方について、商工団

体、建築業界及び関係者と引き続き意見交換を実施しているところ。特に環境対策に取り組んでいるグループとの意見交換では、地域全体の取組を進めるためには、村内等で各種の取組をしている方々との連携は必須であり、ゼロカーボンに向けてテーマを決めた提案型の発表会を開催する。活動団体からの提案を募集して開催したらどうか、また、それらのテーマを組み合わせるなど、意見交換をしながら脱炭素先行地域への方向性をまとめるといった建設的な意見もあった。これらの考え方も体制づくりの一つとして進めたい。

ゼロカーボン推進のための人材として、地域おこし協力隊の任用を前向きに進めるよう指示している。創エネ分野(村内での再エネ電力事業など)は、資源の調達手段や連携パートナーとのマッチングなどが大きなハードルであり、現段階で地域全体の具体的な再エネ導入、再エネ活用計画の方向性を

描けるまでの状況には達していない。計画を描けるよう引き続き努力し、一方で、それぞれの立場で実行できることを優先して実際のアクションをすることも極めて重要と考えている。

問

来年度予算は。

答

実効性の伴う施策となるよう各課に対して指示している。

出典 <https://www.pref.nagano.lg.jp/kenchiku/kenkozeroene/koushu.html>
 助成制度の説明会 > 講習会資料 > 3. 指針の概要 (PDF: 473KB) より

信州健康ゼロエネ住宅指針

◆ 信州健康ゼロエネ住宅 とは

《定量的な定義》指針P43

信州健康ゼロエネ住宅は、「日射や通風などの自然条件等を最大限活かした建築計画」等を十分に検討した上で、

- 基本項目における最低基準を満たすことが必要
 - 基本項目ごとに、推奨基準又は先導基準の選択が可能

太陽光等設置を「推奨基準」、県産木材利用を「先導基準」とした場合

	最低基準	推奨基準	先導基準
外皮性能強化	○		○
一次エネ削減	○		
太陽光等設置	○	○	
県産木材利用	○		○
住宅の強靱化	○		

必須

将来の建物の資産価値を上げるためにも将来を見越した断熱性能が必要。白馬はこれ！冷暖房費大幅削減できる。

断熱等級5 (ZEH基準。UA値:0.5)

断熱等級7 (UA値:0.2)

※日本は2025年に等級4 (UA値0.56)へようやく義務化する
 ※世界のUA値基準は0.28~0.38程度

暖かい家で健康生活!



丸山 勇太郎

問 10億単位ビッグプロジェクトの優先順位は

答 最優先は子育て支援施設。単独の可能性も

【ビッグプロジェクトの優先順位】
今後の村政に控える10億円単位の事業費が予想されるビッグプロジェクト。綿密な財政計画を立て数年から10年単位で

しか出来ない大型事業のうち、図書館、子育て支援施設、小学校建替え、八方池山荘建替え、二股浄水場建替え、新道の駅の優先順位と、最優先プロジェクトの予定着工年度は。

答 1番目は、子育て支援施設(現時点では図書館との複合化)、2番 図書館複合施設、3番 八方池山荘、4番 小学校、5番 二股浄水場、新道の駅は松糸道路を見据え観光客の動向次第。

最優先は子育て支援施設で、令和7年度までに着工する必要がある。

問 複合施設で行く場合は、来年度にPFI注が成立しなければ7年度着工は難しいのでは。

答 7年度着工が難しいのであれば、子育て支援施設の単独建設も並行して考えている。

問 八方池山荘と図書館複合施設は、建設費と維持管理費の負担に今の財政状況では耐えられない。PFIでしか出来ないのでは。

八方池山荘と図書館複合施設は、建設費と維持管理費の負担に今の財政状況では耐えられない。PFIでしか出来ないのでは。

答 八方池山荘はPFIを主眼に進める。図書館複合施設はPFIと単独事業の両睨みでいく。

問 小学校の在り方検討は、抽出アンケート資料に不備もあった。アンケート結果を先延ばしの言い訳材料にしてはならない。財政的にも児童数減少面から

も小学校の2校新築は絶対できない。早々に統合は決定して、そのあとのこと(場所、スクールバスなどのサービス、廃校舎の後利用・コミュニティ利用方法など)を丁寧に進めるべき。

そもそも児童クラブを併設する図書館の位置は、学校の位置が決まらなければ決まらないのでは。先行して建設する図書館複合施設で既成事実を作り、必然的に「統合小学校は北小です。」では、神城の皆さんが怒るのでは。

答 教育長 言うことはよく分かる。確かに同時並行して進めることが必要と考えている。

問 北小(築51年)、南小(築50年)とも不備な点もある。図書館2番・学校4番ではなく、同時平行で進めるべきこと。いつまた次の地震が来るかも分からない。65年持たすではなく、決めることは早く決め、先んじてやれることはやるべきでは。

答 村長 過去の経過を知らないし現時点では勉強不足。よく話し合い・意見を聞き・勉強し、自分の中で材料を揃えて検討していきたい。

問 他所の自治体では終わっている教育や福祉の基本的施設更新が、本村では遅れている理由をどう考えるか。

答 村長 オリジンピックという歴史的事業をやり遂げた影響が大きかった。多額の起債償還には年月を要し(施設更新の)先送りを余儀な



老朽化が激しい旧中部保育園に併設した「子育て支援ルーム」。この場所に図書館複合施設を建設することは賛成だが、着工年度が分らない図書館併設ではなく、単独建設を進言する。

くされた。私を実現させた施策もあり、場合によっては縮小・廃止もあり得る。経済活性化による税収アップや、新たな資金調達手法の積極的活用を図って目的を達成したい。

注: PFI(Private Finance Initiative) 公共施設の建設・維持管理・運営などに、民間の資金や技術を活用して行う手法。

図書館は文化施設。 組み合わせは重要では

答

基本計画の見直しの中で方針を定める



丸山 和之

答 ある程度ゆとりのあるスペースを考えている。県と市町村による「デジタル」としよ信州」の利用や、「量よりも「質」を重視したい。

問 文化施設と考えると、交流の場所としての空間は必要と考えるが。

答 村長 様々な人や体験に出会える場所として、住民の活動を支援したり、発表する空間や役割が必要であると考えている。

問 誰もが利用しやすい施設であることは当然だが、これからは大規模災害やコロナ禍のような環境にも対応した施設である必要性もでてくると考えるが。

答 屋内外含めて避難場所とすることも検討し、様々な点を考慮して、居

問 図書館の内容、空間などはどのようにイメージしているか。

答 官民連携調査の中で概算事業費や、民間業者にヒヤリングを行うために制作したものである。具体的な形状や配置については今後検討していく。

【図書館等複合施設】

問 公園などのスペースと山が見えるように考えられた建物を想像するが、モデルプランはどの程度進んでいるか。

心地が良く安心して過ごせる空間、長く利用できる施設とする。

問 図書館の組み合わせとしては、文化施設である以上、白馬の歴史文化を紹介する空間は絶対であると考えるが。

答 郷土に関する文化的なもの展示は重要であると認識している。

問 雪国で景観に配慮する地域での新しいデザインコンセプトを、この複合施設で白馬モデルを創る考えは。

答 村長 現在、村が目指す方向性と合致しているものと考えている。シンボリックな存在となり魅力あるものになると感じる。

問 八方の「山とスキーの総合資料館」にある図書館の姿が、白馬にあるべき図書館の姿である。また村の民話や伝説、神城地震の経験を後世に伝承することも必要と考えるが。

答 検討の中に挙がっている。八方の資料館

も参考にしながら、郷土紹介エリアとして考えていく。

問 村でも芸術文化事業を行っているが、うまく利用されていない。長く続かない、あるべきものがあるべきところはないといった感じがしてならないが。

答 副村長 白馬村の気質として熱しやすく冷めやすい部分があると感じているが、今は多様性をもった方々がいるので、様々なものを展示し集えるようなものになればいいのではないかと感じている。



八方文化会館にある白馬・山とスキーの総合資料館。館内にある図書室のコンセプトは明確。

閉会中活動フォトギャラリー



報告書はHPで掲載しています。



10月16日 村民との意見交換会

3年ぶりの開催でした。「コロナ後の観光とまちづくり」をテーマに、従来どおりの開催方法を採用しましたが、出席者は少なく今後への課題となりました。



11月11日 糸魚川市・小谷村・白馬村議会研修交流会

やはり3年ぶりの開催でした。白馬村が会場地となり、大糸線存続問題などで活発な意見交換を行い、「山とスキーの総合資料館」、「スノーピーク・ランドステーション」を見学しました。



11月28日 白馬商工会との懇談会

例年行っているもので、商工会2階を会場に、理事の皆さんと村政の課題について懇談しました。



11月24日 白馬村シニアクラブとの懇談会

人生経験豊富なシニアクラブの代表の皆様から、率直な意見を頂戴し、毎年参考になっています。



12月1日 県議会へ陳情書提出

小谷村議会と共に、大糸線存続に向けて、県議会議長・副議長に国への働きかけを求め陳情書を提出しました。

トピックス

本会議場傍聴席への昇降機を設置しています。足が不自由な方でも傍聴可能です。
本会議はケーブルテレビでも視聴できます。

スマホアプリで白馬議会だより配信中！



マチイロ

マチを好きになるアプリ



お気軽に！ご意見をお寄せください！ ▶ gikai@vill.hakuba.lg.jp

85-0725(直通) 72-7001(ファックス)

夢、私たちに。

わたしのひとこと



冬また楽し

嶺方 川坂 保宏

早いもので白馬村に移り住んでから、はや11年が過ぎ去ろうとしています。温暖の地、遠州育ちの小生にとって、冬の隙間だらけの古民家暮らしは、なかなかに厳しいものがあります。それでも、晴れた日に見えるアルプスの絶景と輝く新雪を踏んで登るスノーシュートレッキングは、厳寒を耐える価値を与えてくれます。小谷の眺望の郷、嶺方の夢農場、大町の鷹狩山、安曇野の長峰山等々、東側の山頂から見るアルプスの峰々は何とも美しい！

ただ、我が嶺方の夢農場が荒れ放題になっているのには心が痛みます。数年前まではどこの山にも負けぬ絶景スポットだったのに、今や茅や実生の木が伸び放題。登るたびに景色が見えなくなっています。村で買い取って整備すれば、絶好のハイキングコースになると思うのですが…。



自由なわたし

飯田 宇治山 如

今日はクリスマスイブ。そして今夜は新月で空は穏やかです。

フリートクとかフリーライティングが、本当にお上手な方がいらっしやいますけど、すごいなあと思います。今日あった面白いことは、飲食店でバイト初日の男子が、丸いお盆でとにかく面白いネタをやっていたこと！嬉しかったことは、スキーが楽しかったこと！それとこの冬のシーズンは、マッサージの仕事はしますが、絶賛修行中の本日の成果発表で、かなりの好反応をいただいたこと。

この冬は頑張ってたくさん稼ぎます。そしてグリーンシーズンは、秋に植えたタマネギ3万本と、色々な野菜のお世話です。こんな小さな幸せを積み重ねながら、来年は、どんな面白い出来事で人生を楽しめるか期待し、心は自由に日々を過ごして行きます。



白馬らしく、白馬だから

瑞穂 長屋 義和

学生時代を暮らした信州の地を忘れがたく、第2の人生をここで過ごそうと白馬に移住し4年目になります。登山にスキーにと明け暮れるつもりが、土を耕し、薪を割る生活が楽しくて美しい山々を見上げながら、日々を送るようになりました。都会で過ごす時間よりずっと濃密で、人の付き合いも深く心から来てよかったと思っています。

ただ、いろいろな場に参加する中で、こうした方が良いのではと思うことも増えてきています。紙媒体とメール・SNSを連動させたら、といった些細な事から、会議やイベントで運営や発信を、世の中にある便利な手法をもっと取り入れたら良いのとか、村の機関や組織の業務が重複している所や抜け落ちてるところを、時代に合わせて運営したらよいのに、などです。新しいやり方と村の人の優れた発想や力を上手く活かして次の時代を創れたらと思います。

あとがき

12月中旬、コロナに感染しました。小さな頃から「葉嫌い・注射嫌い」でインフルエンザのワクチンも打つたことがありません。村の有り難い検診の際も、別室で横になって採血してもらった程です。コロナのワクチンもしていません。

コロナ禍の始まりで、ワクチンとマスクなどが常識になりましたが、日本では法的な強制はありません。しかし、なんとなくの同調圧力が蔓延して、打っていないことを公言出来ない雰囲気があります。

課題に対し違う視点に立ち、リベラルアーツの精神を持って考えないといけないと思うのは、私だけでしょうか？

(尾川 耕)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 尾川 耕 |
| 副委員長 | 加藤ソフィー |
| 委員 | 増井 春美 |
| 〃 | 横川 恒夫 |
| 〃 | 切久保達也 |
| 〃 | 丸山勇太郎 |
| 議長 | 太田 伸子 |